

チャペル週報

No.2

2018.4.16 ~ 4.20

これは主の御業
わたしたちの目には驚くべきこと。
今日こそ主の御業の日。
今日を喜び祝い、喜び躍ろう。

(詩編118編23-24節)



吉岡記念館とランバス記念礼拝堂

関西学院宗教センター

☆ チャペル・スケジュール ☆

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

4月16日(月) 神 宗教総部による礼拝
経 学生生活オリエンテーション①
人 賛美歌を歌おう① 広瀬 康夫
(吉岡記念館事務室職員・グリークラブ技術顧問)
理 前川 裕 (宗教主事)
聖和 聖書物語「もうひとつの創造物語」

4月17日(火) 神 私の好きな聖書のことば① 岩野 祐介 (神学部教授)
文 Andreas Rusterholz (宗教主事)
社 賛美歌に親しむ一聖歌隊と共に
法 岡野 祐子 (法学部長)
経 学生生活オリエンテーション②
商 林 隆敏 (商学部長)
国 破壊的カルトから自分をまもる① 平林 孝裕 (宗教主事)
理 前川 裕 (宗教主事)
総 細見 和志 (総合政策学部長)
教 オルガニストへのお誘い 教育学部チャペル・オルガニスト

4月18日(水) 神 イースター礼拝 水野 隆一 (神学部教授)
社 「KG スピリット」とは① 打樋 啓史 (宗教主事)
法 大東 和重 (法学部教授)
経 学生生活オリエンテーション③
商 Chapel in English Curtis Rigsby (宣教師)
人 春の献血週間を覚えて 献血実行委員会
国 破壊的カルトから自分をまもる② 平林 孝裕 (宗教主事)
理 前川 裕 (宗教主事)
総 学部創立記念チャペル
教 献血実行委員会

4月19日(木) 神 「震災を覚えて」礼拝④ 神学部メガホンプロジェクト
文 音楽チャペル 関西学院グリークラブ
社 「KG スピリット」とは② Ruth M. Grubel (宣教師)
法 大宮 有博 (宗教主事)
経 学生生活オリエンテーション④
商 献血実行委員会
国 Chapel in English Eun Ja Lee (宣教師)
総 インドネシア交流セミナー2017参加者
聖和 山内 信子 (聖和短期大学専任講師)

4月20日(金) 院 Christian M. Hermansen (法学部教授・宣教師)
神 グリークラブによる音楽礼拝
文 Chapel in English Andreas Rusterholz (宗教主事)
経 学生生活オリエンテーション⑤
人 賛美歌を歌おう② 広瀬 康夫
(吉岡記念館事務室職員・グリークラブ技術顧問)
理 前川 裕 (宗教主事)

◇ランバス早天祈祷会 毎週金曜日 8:20～8:40 ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)
4月20日(金) キリスト教と文化研究センターのために 水野 隆一 (キリスト教と文化研究センター長)

「イースター –輝くいのちへの招き」

梶原 直美

3月初旬の寒い日、聖和キャンパスから上ヶ原キャンパスに向かう道端の溝を勢いよく流れる水に目が留まりました。堰を切ったように流れる水に太陽の光が輝いて、ちょうど凍り付いて眠っていたものが起き出すかのようなようでした。ダイナミックないのちの働きを感じるこの季節に、イースター、復活祭が訪れます。

キャンパスに育つ木々や草花、鳥や虫なども生物たちは、季節の変化を教えてくださいます。季節のなかでも春は特別で、人々の歩みにも大きな変化が訪れる時期です。関西学院は、この春にも多くの学生のみなさんをお迎えしました。

イースターは日本語で復活祭を意味しますが、これはイエス・キリストの死からの復活をお祝いする祝事です。「復活」という出来事の前には、「死」という現実がありました。死はすべてのいのちに備わっている自然なものです。それは、生物だからこそ持つ限界でもあります。

考えてみると、人間には限界がたくさんあります。寿命はもちろんのこと、見えるもの、聞こえるものも限られています。これは身体的な限界です。それだけでなく、何かを信じること、ひとを受け入れること、ゆるすことも一。それが人間です。そんな弱さを持っているがために、迷って、苦労して、ときには途方に暮れながら、一日一日を歩み続けます。その歩みがまるで色のない寒い景色のように感じられることもあるでしょう。

けれども、そのような人間にだからこそ、神様が与えてくださったものがあります。それが死からの甦り、イースターの喜びです。人それぞれ、絶望して身動きの取れない現実を経験するその先に、春の日射しに照らされるような、鮮やかないのちの喜びが準備されています。死の先にある新しいいのち。聖書はイエスという人物の一回きりのいのちの歩みをとおして、わたしたちに生きることそのものの闇と、それを超える希望を教えてくださいます。

4月。あんなに待ちわびた桜の花びらが、ゆっくりと散っていきました。そして、花水木、つつじ、紫陽花、たくさんの鮮やかな花が、新しい景色として再びわたしたちの目の前に広がります。わたしたちもまた、そのいのちの一部です。生き物を躍動させるいのちの豊かさをこのキャンパスで味わえる、その幸いを実感するイースターです。

(教育学部宗教主事)

●春の献血週間(西宮上ヶ原キャンパス)のお知らせ

学生会宗教総部では、春の献血週間を実施します。提供していただく血液は、兵庫県赤十字血液センターでの検査を経て医療現場に届けられます。皆様のご協力をお願いします。

期 間：4月16日(月)～20日(金)

受付場所：吉岡記念館ラウンジ

主 催：宗教総部献血実行委員会

●チャペルオルガニスト募集

関西学院では毎年チャペルオルガニストを募集しており、本年は4月28日(土)にオーディションを行います。採用されますと個人レッスン(有料)を受けることができ、チャペルの演奏をはじめ、発表会、研修会、コンサートなどを通して、教会音楽を中心とした幅広い知識、技能を身につけることができます。

募集要項・応募用紙の入手先

・ホームページ

関西学院大学ホームページからダウンロードできます。

学生オルガニスト 検索

・電子メール

organist@kwansei.ac.jpにあなたのキャンパス名を書いたメールを送信してください。

返信で送ります(添付ファイルが受信可能なメールアドレスからお送りください)。

・事務室

宗教センター(吉岡記念館1階)、聖和キャンパス事務室教育学部担当(1号館1階)、

神戸三田キャンパス事務室(アカデミックコモンズ1階)に置いています。

応募期間：4月2日(月)～4月26日(木)の事務室開室時間

お問い合わせ・資料請求：宗教センター オルガニスト募集担当

電話：0798-54-6018、E-mail:organist@kwansei.ac.jp



QRコードリーダー対応の携帯電話をお使いの方は、左記のQRコードからアクセスしてください。

●関西学院チャペルオルガニスト スプリング・コンサート

各学部のチャペルで演奏を担当している学生オルガニストが得意曲を披露します。

と き：4月17日(火)、19日(木) 12:50～13:25

と ころ：ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)

●第212回ランバス演奏会のご案内

「ランバス演奏会」は1961年から関西学院の学生、生徒、教職員をはじめ、地域住民の方々に親しまれて参りました。ランバス記念礼拝堂に響く音色をたっぷりお楽しみください。

「カッチーニの新音楽」

演 目：アマリリ麗し、パッサカリアのアリア、愛の神よ、ほか

演奏者：平井満美子/ソプラノ 佐野健二/リュート

と き：4月19日(木) 17:00開演(16:30開場)

と ころ：ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)

主 催：宗教センター <入場無料>

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アブロースタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、大学院授業期間中の毎週木曜日にチャペルアワーを開催しています。

【どなたでもご自由にご参加ください。】(17:50～18:20 1405教室)

2018年4月主題：「イースターを迎えて」

4月19日(木) 嶺重 淑(大学宗教主事)

4月26日(木) 舟木 讓(宗教総主事)

●関西学院イースター礼拝

イエスの復活を覚えて、関西学院のルーツに触れてみましょう。

参加者にはイースターエッグ(ゆで卵)をプレゼントします。

と き：4月25日(水) 17:00～18:30

と ころ：ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)

主 催：関西学院宗教活動委員会

協 力：宗教総部、チャペルオルガニスト、聖歌隊、ハンドベルクワイア、バロックアンサンブル、ゴスペルクワイア、聖書研究会ポプラ、留学生有志